



名誉会長に河村建夫先生がご就任

塩川正十郎先生がご勇退され、この度平成26年度第2回理事会（書面決議）に於いて可決、2014年10月24日付にて当協会名誉会長に自由民主党衆議院議員河村建夫先生がご就任されました。河村先生は、小泉内閣では文部科学大臣、麻生内閣では内閣官房長官を歴任。現在、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会推進議員連盟会長代行を勤められ自由民主党重鎮として幅広くご活躍であります。堅実かつ実直な河村先生に様々な視点からのご教示をいただけることは当協会として大変心強い限りです。



■河村建夫先生 ご経歴

昭和17年11月10日 山口県萩市生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。山口県議会議員を経て1990年(平成2年)衆議院議員初当選。当選回数9回。文部科学大臣、内閣官房長官を歴任。現職、衆議院予算委員長、自由民主党地方創生実行統合本部長。

日本寺NEWS

2015年3月廣瀬晴彦駐在僧任期満了にて帰国

廣瀬駐在僧には持前のパワフルさ、明るさで約1年間、お一人での日本寺の駐在にも関わらず、毎日の法務に加え日本寺ご来訪方々への対応をいただきました。日本寺を訪れた方々より帰国後、廣瀬上人にはご親切にしてくださいましたと数多くのお声を頂戴いたしました。廣瀬上人の駐在報告です。

廣瀬 晴彦（ひろせ せいげん） 27歳

所属寺院：群馬教区前橋組森巖寺（東京目黒 祐天寺法務部勤務）

駐在期間 2年 2013年3月始～2015年3月末

2013年3月から約2年間、印度山日本寺で駐在僧を務めさせていただきました。

ブッダガヤはお釈迦様がお悟りを開かれた聖地であり、2年間そこで勤められたことは僧侶として、また一人の仏教徒としてとても有り難く、この上ない経験でありました。

また私が現在勤めております東京目黒にある明顕山祐天寺の第二十世住職であられた巖谷勝雄上人は、印度山日本寺の開山上人であります。御上人が生涯をかけて作り上げてきた寺院に少しでも関わったことを嬉しく思っております。

ブッダガヤでの生活は、普段当たり前であって私たちが忘れてしまいがちな大切なことを多く思い出させてくれました。それは当たり前のことを有り難く感じ取れる貴重な時間でありました。どのようなことかこの場で伝えるよりも、是非皆様にこの地を訪れていただき、肌で感じていただければと思っております。ブッダガヤは日本人の心の中に自然とある仏教の教えを改めて感じる事ができる大切な場所です。

印度山日本寺は、超宗派のお寺です。私自身、ブッダガヤという地のご縁がなければお会い出来なかった各宗派の方々がたくさんおります。それはかけがえのない出会いでありました。宗派を超えて、同じ仏教を通じて多くのことを学ばせていただきました。また印度山日本寺には多くの若い旅行者が訪れます。その中には心から仏教に救いを求めて訪れる方も多くいます。多くの方と時間に限りを取らずゆっくりお話をすることで、私自身も仏教の大切さを改めて感じる事が出来た日々でした。

この先を担う各宗派の若き僧侶の方々には、もし時間や機会を作れるのならば、この地でたくさんの事を体験していただければと願っております。それはきっとかけがえのない経験となるはずです。



お釈迦様ご成道の聖地UNESCO 世界遺産インド・ブッダガヤ 印度山日本寺駐在僧募集

募集人員：若干名

年齢：健康であれば特に問いません。

資格：僧籍保有者 宗派問わず（宗派・寺院師僧の推薦状必須）

▽正規駐在僧▽

期間：6ヶ月～2年（期間応相談）

待遇：渡航費用、海外旅行保険、駐在慰労金、現地雑費手当、
日本寺で駐在中の食・住費用等はすべて当方負担。

▽短期駐在僧▽

期間：1ヶ月～3ヶ月

待遇：渡航費用は、自己負担。日本寺で駐在中の食・住費用等はすべて当方負担

任務内容：日課勤行および訪問者への応待ならびに各国仏教寺院との国際合同行事参加出仕や法務および軽微な事務。

応募方法：自筆履歴書と志望理由書面を添えて事務局宛てに郵送するか、先ずはお電話にてお問合せ下さい。

〒153-0061 東京都目黒区中目黒5-24-53 公益財団法人国際仏教興隆協会 TEL：03-3711-7608



菩提樹学園NEWS

2014年次卒園式ならびに2015年次入園式のご報告

2015年3月24日菩提樹学園では卒園式が行われました。今年度も無事に69名の園児が卒園を迎えることができました。皆様からのご支援に感謝いたします。



卒園証書の授与ならびに記念品として小学校で使用するカバンが授与されました。



クラスの皆で卒園記念撮影



入園希望児面接



入園式

新園児入園に先駆け3月に入園面接が行われました。集まった入園希望の子どもたちには、「自分の名前」「住んでいる村」「親の名前」を言えるか、「幼稚園に来たいかどうか」の意志を本人に確認します。また、保護者には3年間休みなく子どもを通園させられるかどうかを確認します。これらの質問に答えることができた子ども達72名が4月1日入園式を迎えました。

光明施療院NEWS

医師採用に向け交渉中

現在・医師の不在により新たな医師採用に向け、現在医師と交渉しております。インドルピー高騰等により給与面等で難航いたしておりますが、一刻も早く医師による診療再開に向け勤めてまいります。

ブッダガヤNEWS

セブンイレブン開店?!

ブッダガヤ・大塔前にセブンイレブンが開店しました。と言っても正式なセブンイレブンではなく取扱商品は通常の雑貨店とかわらずスナックや調味料ですが、わさび（某有名メーカーの偽物）が取り扱われていました。ブッダガヤにご訪問の際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



ブッダガヤへのアクセスが便利になりました!

タイ・バンコクからタイ国際航空・ロイヤルブータン航空・インド航空によるブッダガヤ行の便が増え、ブッダガヤへのアクセスが便利になりました。空港から車で約15分。どうぞ、印度山日本寺にお越しください。

■印度山日本寺開山40周年・菩提樹学園35周年・光明施療院30周年記念法要ならびに
第5回大本山薬師寺東塔修理特別大勧進納経■ 於：2014年11月21日 日本寺

前薬師寺管主の安田暎胤当協会理事長を導師に法要を厳修。法要後、菩提樹学園



園児によるお遊戯会が開催され、園児達はこの日のために練習した歌やダンスを披露しました。公益社団法人全日本仏教婦人連盟様から光明施療院運営資金として納経料を150万円ご寄附、ならびに医療器具の寄贈、菩提樹学園の園児に文房具を贈呈いただきました。この記念法要に先立って公益社団法人日本仏教保育協会様から菩提樹学園運営資金として200万円ご寄附と机椅子の御寄贈、当日は園児達にお菓子を贈呈いただきました。薬師寺納経法要に際して5000巻の納経料として150万円をご寄附いただきました。また法要にご参加の方々からいただきましたご寄附衷心より御礼申し上げます。



高圧滅菌器（オートクレーブ）

※法要の様様・園児のお遊戯等、webサイト <http://www.ibba.jp/> にて動画でご覧いただけます。

■日本寺成道会・第39回国際仏教徒結集■ 於：2014年12月8日 日本寺

『喧嘩×諤諤』元駐在僧 渋谷香悦

2014年12月8日。釈尊成道のその日、日本寺では恒例の成道会法要、並びに国際仏教徒結集が開催されました。企画・広報局長、安孫子虔悦師のお供として、数年ぶりにそのお手伝いをして参りましたので報告いたします。研究学術発表会である「国際仏教徒結集」。今回のテーマは、【CAUSES OF INEQUALITY AMONGST HUMANITY IN BUDDHISM】（＝仏教における人間の不平等性(人間差別)の意味)でした。教化局長の日下俊文先生と、現地役員のDr. パルワ、Dr. トゥルク両氏のお世話で、インド内外より20名を超える研究者が一堂に会し研究成果の発表と質疑応答が行われました。

隣山各国寺院の僧侶を招いての法要を終え、特設テントで振る舞われる昼食を摂った後、境内の講堂で開会式が執り行われます。引き続いて、いよいよ研究発表の開始です。始まるや否や、口角泡を飛ばしての「喧々囂々」「侃々諤々」たる議論が飛び交い、各人が持ち時間を遥かに超過する展開となっていきました。

「喧【けん】」は「やかましい、かまびすしい」を意味し、「諤【がく】」には「遠慮せずに直言すること」という意味があるといひます。



私の語学力では残念ながら発表の内容を理解することはできなかったものの、文字通り、発表者それぞれが「口々にやかましく」も「正しいと思うことを堂々と主張する」実り多き大会になっているのを肌身で感じて参りました。特筆すべきは、今回のテーマが大きな社会問題である性差別に関わることから、発表者の約半数を女性が占めていたということでしょう。

日本の学術大会などでは互いに遠慮したり、「こんな事を質問して恥をかいたら嫌だな・・・」という、悪い意味での「空気を読む」

風潮がしばしば見受けられますが、ここインドでは己の信条を貫いて一歩も退かない真摯な姿勢のぶつかり合いが見られます。世界が瞠目する新興国としての勢いをこうした場でもまざまざと見せつけられる、そんな催しでありました。

成道会にブッダガヤへご参詣の際には、この学術大会の雰囲気も味わってみられてはいかかでしょうか？

■臨濟禅セッション■ 於：2015年1月15日～2月15日 日本寺本堂
 臨濟宗・ミロ雲龍師を講師に朝5：30からの坐禅に始まり経行（瞑想歩行）・朝課
 （勤行）・また17：00からの晩課・坐禅・経行・法話と座学と坐禅実習組み合わせに
 による充実した内容の坐禅セッションに日本をはじめ多国籍の方々が参禅されました。



ご支援のお願い

当協会ではインド・ブッダガヤへの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持
 会員ならびに、菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。

◆護持会員のご案内◆

年会費 個人会員様:5,000円 法人会員様:10,000円 維持会員様:100,000円(いずれも1口以上)

◆ヒューマンサポートプログラムのご案内◆

菩提樹学園年間ペアレントメンバー 年会費:10,000円

・園児1人の文具代3000円・1日分の給食燃料費1,000円

光明施療院年間サポートメンバー 年会費:10,000円

・患者3名分の検査代5,000円 ・患者3人分の1回あたりの薬代1,000円



プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。 Webサイトからクレジットカードでのご寄附も可能です

▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱東京UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

※平成24年度より内閣府の認定を受けた公益財団法人として運営され、御寄附頂きました金額は
 「税額控除」・「所得控除」の対象となります。

写経会開催のお知らせ

慌ただしい日常から離れ静寂なお寺で心静かに写経されてはいかがでしょうか。写経は、お釈迦様がお悟り
 をひらかれたインド・ブッダガヤ大菩提寺(世界遺産)境内の聖菩提樹前に奉戴し、ご記入いただきましたお願
 い事等が成就されることを祈念し読経奉誦後、日本寺に奉納いたします。ご予約・道具は不要です。筆記具は
 毛筆・ボールペン・鉛筆からお選びいただけます。

般若心経の台紙が用意してあります。写経が初めての方もお気軽にご参加ください。

【開催日・場所】2015年6月12日(金)18:00～20:00 (17:30受付開始)

祐天寺 書院(東京都目黒区中目黒5-24-53)

【内容】18:00～法要・18:20～法話 廣瀬晴彦上人(祐天寺僧侶・日本寺元駐在僧) 19:00～写経

※開催時間中いつからでもご参加可能です。

【アクセス】東急東横線祐天寺駅徒歩5分、JR恵比寿駅より用賀行バス祐天寺前

【会費】ご納経料2,000円(ご寄附として頂戴します。)

公益財団法人国際仏教興隆協会

webサイト<http://www.ibba.jp/> 随時更新中!

印度山 日本寺

検索

フェイスブック <https://www.facebook.com/ibbajp>

ツイッター ブッダガヤ 日本寺@indo_nipponji にても更新中です。

※Web サイトをお持ちの会員様は、リンクをお申込みください。

【お申込み】メール(jimukyoku@ibba.jp)にて
 ホームページアドレスをお知らせください。



事務局日誌

5月28日 第10回理事会

6月15日 第7回評議委員会

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail: jimukyoku@ibba.jp

<http://www.ibba.jp/>